

				科目コード	110
科目名	周産期ハイリスクケア論 (High Risk Perinatal Care)			選択区分	必修
単位数	1単位	時間数	30時間	学期	通年
担当教員	今村 朋子、井上 明子、伊藤 美香、山本 美由紀、 枝川 千鶴子			区分	助産学実践領域
授業概要	マタニティサイクル各期の身体的、心理・社会的なハイリスク状態にある母子や家族の診断および援助について、講義と様々な形式の演習（事例演習・技術演習）を通して学習する。				
授業目標	1 周産期のハイリスク状態にある母子の病態生理に基づいた診断と援助が理解できる。 2 分娩期の異常やハイリスク妊婦に対する助産計画や保健指導案を立案することができる。 3 ハイリスク状態にある対象者をマタニティサイクル各期の一連の流れの中で理解し、対象がその人らしく、より良い健康状態に向けて過ごすための援助について考えることができる。				

授業内容

回	項目	内 容	担当者
1	分娩期の異常に対するケア(1)	娩出力異常の診断と助産ケア 微弱陣痛・過強陣痛、分娩誘発の薬剤管理と援助	山本美由紀
2		分娩に伴う様々な処置、急速遂娩	伊藤美香 井上明子
3		分娩期の正常逸脱事例シミュレーション	今村・井上 伊藤・山本
4	心理・社会的問題に対するケア	心理社会的ハイリスク妊産婦と家族のケア 若年妊娠、未婚女性、虐待、産後うつ	井上明子
5		死産・新生児死亡で子どもを亡くした家族の援助	今村朋子
6	ハイリスク妊婦のケア	ハイリスク妊娠と助産師の役割、施設連携と周産期医療システム、異常徴候の早期発見に向けたリスク査定	今村朋子
7		【ハイリスク事例演習①】事例A:妊娠糖尿病	伊藤美香
8		【ハイリスク事例演習②】事例B:妊娠高血圧症候群	井上明子
9		【ハイリスク事例演習③】事例C:双胎・切迫早産	
10	分娩期の異常に対するケア(2)	帝王切開のケア	山本美由紀
11		産科出血の予防と対応	
12	ハイリスク産婦・褥婦のケア	【ハイリスク事例演習④】臨床推論	今村朋子 伊藤美香 井上明子 山本美由紀
13		ハイリスク事例の分娩時の緊急対応と予後の推定	
14	ハイリスク新生児のケア	ハイリスク新生児と家族のケア	枝川千鶴子
15		【技術演習】ハイリスク新生児の日常ケアの実際	
成績評価方法	今村・山本：スタンダードプランの作成（40%） 井上・伊藤：ハイリスク事例演習課題 ①②③ 各20%（60%）		
教科書	1. 遠藤敏子「ハイリスク妊産褥婦・新生児のケア」（日本看護協会出版） 2. 横尾京子「助産学講座8 助産診断・技術学II [3]新生児期・乳幼児期」（医学書院） （14-15回は教科書2を使用する）		
参考図書等	授業の中で提示する。		
備考	夏季休暇中の事前課題で立案した助産計画を活用して、【ハイリスク事例演習】を展開する。 本科目の課題や記録等は、全て「助産学実習Ⅱ：ハイリスク実習」での活用が可能である。		